日本赤十字社 佐賀県支部
Japanese Red Cross Society

赤十字さが

2019
Vol.80
年2回発行（4,10月）

さがの人たちにもっと伝えたい、
佐賀の赤十字。

赤十字3大全国キャンペーン

5月は赤十字運動月間！！～「防災セミナー」実施！～

“地域”で考える“防災”
～あなたが暮らす町でも災害は起きる？～

新しい献血会員Webサイト「ラブラッド」誕生！

公式Facebook更新中。

赤十字運動月間!! ～ 苦しむ人びとを、

日本赤十字社創立記念日（5月1日）や赤十字社の創設者アンリー・デュナンの生誕日（5月8日）などにちなみ、日本赤十字社では5月を「赤十字運動月間」として定め、さまざまな広報活動を実施します。

特に「苦しむ人びとを救い続けるため」の活動資金へのご協力をよろしくお願いいたします。

『佐賀県庁とコラボ』 ～赤十字レッドライトアップ企画の実施！～

広く佐賀県民の皆さまにも、赤十字の理念「人道」の尊さを共有していただくため、下記内容により佐賀県庁とコラボした企画を実施します。ぜひ、期間中に佐賀県庁へお越しいただき、各企画をご覧ください。

■**赤十字レッドライトアップ**……《4月26日～5月12日》
県庁旧館玄関を赤十字のイメージカラーである赤色にライトアップする。

■**懸垂幕の掲示**……《4月26日～5月10日》
県庁旧館東側に赤十字運動への協力を呼びかける懸垂幕を掲示する。

■**ＰＲ映像の放映**……《5月7日～5月31日（平日のみ）》
県庁１階県民ホール（大型スクリーン）で、赤十字ＰＲ映像を随時放映する。

■**パネル展示**……《5月13日～5月17日》
県庁１階県民ホールで、赤十字活動を紹介するパネルを展示する。

佐賀県 × 日本赤十字社 Japanese Red Cross Society 佐賀県支部

レッドライトアップ

懸垂幕の掲示

パネル展示

救い続ける ～

『防災セミナー』

～「地域」で考える「防災セミナー」を県内各地で実施いたします。～

身近なものを応用してできる災害時に役立つ応急手当です。

MENU メニュー

- 「災害への備え」スライド
- 熊本地震救護活動DVD
- 講話
  - ①災害を知ろう。自助・共助の役割
  - ②非常持出品の準備
  - ③避難所での生活
- 災害食づくり
- 応急手当

○市町日赤地区・分区窓口にお申し込みください！

日　程	時　　間	開 催 エ リ ア	会　　場	申　込　先
4/24(水)	14:00 ～ 14:30	伊万里市・有田町	伊万里市民センター文化ギャラリー	0955-22-3931
5/11(土)	10:00 ～ 12:00	武雄市・大町町・江北町・白石町	江北町　B&G体育館	0952-86-4317
5/13(月)	13:30 ～ 15:30	唐津市	唐津市文化体育館	0955-70-2334
5/15(水)	14:00 ～ 16:00	神埼市・吉野ヶ里町	神埼市中央公民館	0952-37-0110
5/18(土)	10:00 ～ 12:00	鹿島市・嬉野市・太良町	太良町総合福祉保健センター　しおさい館	0954-67-0410
5/23(木)	10:00 ～ 12:00	佐賀市	メートプラザ佐賀　多目的ホール	0952-32-6670
7/2(火)	13:40 ～ 14:10	上峰町	上峰町老人福祉センター　おたっしゃ館	0952-52-4930
7/13(土)	9:30 ～ 13:00	玄海町	浜野浦海岸	0955-51-3073
7/24(水)	10:40 ～ 11:30	鳥栖市	鳥栖市社会福祉協議会　適応訓練室	0942-85-3555
2020.3/8(日)	9:20 ～ 11:00	基山町	基山町内	0942-92-3311
(1月頃開催予定)		小城市	小城市保健福祉センター「桜楽館」	0952-73-2700
(3月頃開催予定)		多久市	多久市社会福祉会館	0952-75-3593
(6月または9月開催予定)		みやき町	みやき町内	0942-81-6430

赤十字3大全国キャンペーン

日本赤十字社の使命や活動内容を皆さまに知っていただくため、年間を通して3つのキャンペーン「赤十字運動月間」、「NHK海外たすけあい」、「私たちは、忘れない。」を行います。

4～5月 赤十字運動月間

11～12月 NHK海外たすけあい

2～3月 私たちは、忘れない。

複数回献血クラブは「ラブラッド」に愛称を統一しました

Webサイトをリニューアルしました

ラブラッド会員大募集!!

会員になるとこちらのオリジナル
デザインの献血カードに交換できます

全国どこでも
献血
予約可!

ポイントが
貯まる!

血液検査の
結果通知が
早い!

会員限定の
キャンペーンや
特典が届く!
etc

かんたん会員登録!

http://www.jrc.or.jp/donation/club/

カード交換は、受付スタッフへお申し出ください。

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

今年も献血バスがやってきます！

有田陶器市献血

第116回有田陶器市の会場で、今年も献血をお願いします。献血の必要性を理解していただき、毎年多くの方々にご協力をいただいています。

会場で献血された方には、特別な記念品も用意しておりますので、ぜひ献血会場へお越しください。

日　時　2019年4月29・30日、5月3・4・5日

会　場　有田陶器市【有田町東出張所】
（献血のテントや看板が目印です）

献血者の皆様へ感謝！！

6月14日は世界献血者デー

「世界献血者デー」は、2005年に輸血用血液（赤血球・血漿・血小板）の世界的な需要が高まる中、WHO（世界保健機構）が制定したものです。

献血者の皆様に感謝するとともに、献血者の確保にご協力をいただいているボランティアの方々に敬意を表し、その活動を広く認識していただく日となっています。

6月14日には、ABO式血液型を発見し、ノーベル賞を受賞したカール・ラントシュタイナーの誕生日という特別な意味があります。この記念日に合わせ、6月12日（水）、13日（木）及び14日（金）に『献血プラザさが』で献血にご協力をいただいた方に粗品を進呈いたします。

12月 2(日)3(月)

✚ December

九州八県支部 合同災害救護訓練を実施！

■今後起こりうる災害に備え、連携を強化！

佐賀県支部では、12月2日(日)～3日(月)にかけて「九州八県支部合同災害救護訓練」を実施しました。当訓練は、九州の各県が毎年持ち回りで実施しており、今年は県内外から約300名が参加しました。訓練では、支部庁舎に災害対策本部を設置し、情報収集や本部機能を確認。また、合同救護所では、各県救護班が共同し、傷病者の応急処置や搬送の調整を行い、関係機関との連携を強化しました。

1月 14(月・祝)

✚ January

はたちの献血キャンペーン

■会場で400mL献血をお願いしました

2019年1月14日の成人の日、ゆめタウン佐賀でイベントを開催しました。当日は、元LinQの卒業メンバーを中心としたアイドルグループ「トキヲイキル」のステージや献血クイズ等で大いに盛り上がりました。ステージからの呼びかけや「トキヲイキル」や「BudLaB(バドラブ)」のメンバーと一緒に献血を呼びかけ、当日は81名の方々に献血のご協力をいただきました。

2月 7(木)

✚ February

平成30年度 “第2回支部評議員会”を開催

■平成31年度事業計画と予算が承認されました

佐賀県支部評議員会において決議された、一般会計予算に基づき、今年度も県内における赤十字事業を展開します。

2月 2(土) 原子力災害拠点病院として

■佐賀県原子力防災訓練に参加しました

2月2日(土)、佐賀県原子力防災訓練に唐津赤十字病院が参加しました。当院が参加したのは被ばく傷病者等受入訓練。今回は玄海原子力発電所内で発生した汚染を伴う負傷者の受入れ・被ばく医療処置を長崎大学、唐津市消防本部、九州電力と協力しながら、本番に近い状況で行うことができました。今後も原子力災害拠点病院として、その機能を確保するために備えていきます。

2月 9(土) 第13回赤十字いのちと献血俳句コンテスト表彰式

■献血プラザさがで表彰式を行いました

県内の478人が応募した1,286作品の中から、西与賀小6年の西村幸妃さんの作品が血液センター所長賞に選ばれました。受賞作の「亡き友の　声援聞こえた　運動会」は、病気で亡くなった友人への思いを込めた作品です。団体賞は、早稲田佐賀高等学校、七山中学校、東川登小学校がそれぞれ受賞となりました。

2月 26(火) 沖電気工業株式会社様から献血運搬車の寄贈！

■全国の血液センターに今回で29台目

2月26日に沖電気工業株式会社様から社会貢献活動の一環として「保冷庫付献血運搬車」の寄贈を受け、佐賀県赤十字血液センターで贈呈式を行いました。沖電気工業株式会社様は、昭和39年、日本において初めて集団献血にご協力いただいた会社であり、その後、今日までの永きにわたり企業献血の模範として、毎年全国各地で1,000人以上の方々から献血にご協力をいただいております。平成18年には、第42回献血運動推進全国大会において、「昭和天皇記念献血推進賞」を受賞されました。

March

3月 9(土) 「私たちは、忘れない。」キャンペーン

■東日本大震災復興支援の街頭募金を実施

震災から8年。佐賀県支部では、復興支援プロジェクト「私たちは、忘れない。」キャンペーンの一環として、ゆめタウン佐賀で街頭募金を実施。当日は、青少年赤十字高校メンバーや各奉仕団から50名を超えるボランティアの方の協力を得て、2時間呼びかけを行いました。お寄せいただいた義援金は、日赤本社を通して全額被災地県の配分委員会に送られ、被災者に届けられます。

赤十字
Supporters
サポーターズ
Vol.3

田中会長

佐賀県学生献血推進協議会

Red Cross Supporters

“引き継がれるいのちのバトン”

毎週金曜日、躍動する若い力が佐賀県赤十字血液センターへ集結する。

佐賀県学生献血推進協議会、通称『ちっち』は、主に若年層へ正しい献血の知識を広め、意識の向上を図ることで、献血者数の増加を目指して活動している。

メンバーは佐賀県内の大学生で構成され、大学やショッピングモールでの献血の呼びかけ活動など、日々、献血の推進に励んでいる。

彼らの懸命な活動とは裏腹に、血液事業の現状は厳しい。少子化の影響を受け、献血可能な若い年代の人口が減る一方で、輸血を必要とする高齢者の割合はますます増加していく。県内においても、若年層の献血者数は漸減傾向にある。

県内の大学に通う田中会長は、「年齢が近いからこそ、同世代の若い人たちに献血を呼びかける力がある」と力強く語ってくれた。大学入学後、佐賀県青年赤十字奉仕団に入団し、ショッピングモールでの献血呼びかけ活動をきっかけに、同協議会に加入することになった田中会長。

献血推進活動に携わる中で、献血の必要性を多くの人に伝えたいという思いは強まっていった。実際に輸血を受け、病気に打ち勝った方のお話を伺うことで、同協議会の働きが多くの患者さんの命を救っているということを実感し、活動の原動力となっている。

血液は人の命の源であり、献血は命のおすそわけ。

献血者から輸血を必要としている患者さんへ命のバトンが繋がれている。

今年の1月に就任した田中会長は、前会長から「会長の役割を全うし、自分のスタイルで若年層の献血者を増やす活動を行ってほしい」と想いを託された。

今後の活動について、田中会長は、「メディアの力を使いながら、若年層献血者の増加を目指す。」と展望を語ってくれた。同世代の競泳選手が白血病に罹患したことを公表したことで、若年層の献血者数が増加。改めて同世代が与える影響力とメディアの力を実感し、活動の意義を見い出した。

前会長の活動に対する想いのバトンはしっかりと田中会長に引き継がれている。

彼ら学生献血推進協議会の活動が、若年層の献血離れに歯止めを掛け、血液の安定供給に貢献してくれることを期待せずにはいられない。

赤十字の活動は、多くのボランティアの方によって支えられています。

老若男女問わず、ボランティア活動に興味のある方は、ぜひ日本赤十字社佐賀県支部までお問い合わせください。

広報誌「赤十字さが」vol.80 平成31年4月1日発行　編集・発行◉日本赤十字社 佐賀県支部

日本赤十字社

佐賀県支部	〒840-0843　佐賀市川原町2番45号 TEL.0952-25-3108
唐津赤十字病院	〒847-8588　唐津市和多田2430番 TEL.0955-72-5111
佐賀県赤十字血液センター	〒849-0925　佐賀市八丁畷町10-20 TEL.0952-32-1011

ご愛読
ありがとうございます。